

住吉区総合教育会議

令和 7 年度 主な教育・子育て関連事業

(令和 7 年 1 2 月末現在)

目次

1. 教育活動支援事業

- ◆ 不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業…………… 1
- ◆ 「すみよし学習クラブ（ジュニア）」及び「すみよし学習クラブ」
自主学習習慣づくり支援事業…………… 2、3
- ◆ 「漢字検定チャレンジ支援」自主学習習慣づくり支援事業…………… 4
- ◆ 「学校園補助スタッフの活動支援」学校園教育活動支援事業…………… 5
- ◆ 「福祉施策ガイドブック」の作成 学校園教育活動支援事業…………… 6
- ◆ 子ども・若者育成支援事業…………… 7
- ◆ すみよし学びあいサポート事業（生活困窮世帯の中学生への学習支援）…………… 8
- ◆ 発達障がい教育支援事業…………… 9
- ◆ こどもの朝食欠食率改善推進事業…………… 10
- ◆ 生涯学習推進員の支援・はぐくみネット事業の推進…………… 11
- ◆ 防災・減災教育と活動の展開…………… 12

2. 児童虐待防止関連事業

- ◆ はぐあっぷ「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ事業…………… 13
- ◆ すみちゃんまちぐるみ「こども安心」見守り事業…………… 14

3. 子育て支援関連事業

- ◆ こどもサポートネット事業…………… 15
- ◆ すみちゃん子育て情報フェア…………… 16

1

不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業

令和7年度予算:3,189千円(校長経営戦略支援予算)

1. 目的

教室に入れない生徒や不登校傾向にある生徒の支援の必要性が顕在化する中、当該生徒が安心して登校できる居場所や学習できる環境の整備が喫緊の課題であり各学校の実情に応じた物品を配付することにより、学校での不登校生徒への支援の取組みをサポートする。

2. 内容

登校はできるが教室に入ることができない生徒や不登校傾向にある生徒への支援を目的として、学校内の使用していない教室等を活用し、机や椅子、パーティションなどを配置することにより心理的負担が軽減され、学習できる環境を整備する。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

本事業における区からの支援について、「教室に入れない生徒や不登校傾向にある生徒が安心して過ごせる環境整備に繋がった」と感じる回答した中学校長の割合 75%以上

実績 (令和7年12月末現在)

・区内中学校全8校に対して希望調査を実施し、机、椅子、パーティション等の共通する物品については、12月中旬に配付済。

個別に希望のあった物品については、順次購入を進めている。

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

3,188千円

主な増減理由

なし

「すみよし学習クラブ (ジュニア)」及び「すみよし学習クラブ」 自主学習習慣づくり支援事業

令和7年度予算:496 千円 (校長経営戦略支援予算)

1. 目的

住吉区内の小学校5・6年生及び中学生を対象に実施する、子どもの自主学習習慣の定着及び学習意欲の喚起、各学年・各児童生徒の習熟に応じた基礎学力向上を図るため、民間事業者と協定を結び、放課後の学校施設を利用して学習支援を行う。

2. 内容

【すみよし学習クラブ (ジュニア)】

実施対象 : 住吉区内の小学校5・6年生 (オンライン以外は実施校在籍児童5・6年生のみ)

実施場所 : 遠里小野小学校、清水丘小学校、南住吉小学校、苅田北小学校、オンライン

➤ 週2日、1日2コマ、各校30名程度

実施科目 : 国語・算数・英会話

参加者負担 : 月額5千円 (大阪市習い事・塾代助成事業の利用も可能)

【すみよし学習クラブ】

実施対象 : 区内在住の中学生 (希望者はオンライン受講も可)

実施場所 : 遠里小野小学校、我孫子中学校、墨江丘中学校

➤ 週2日、1日2コマ、各校30名程度

実施科目 : 国語・数学・英語 (中3は定期テスト・入試前に理科・社会科も対応。)

参加者負担 : 月額1万円 (大阪市習い事・塾代助成事業の利用も可能)

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

【すみよし学習クラブ (ジュニア)】【すみよし学習クラブ】

受講者が受講前より学校の授業以外の学習時間が増えた割合 80%以上

実績 (令和7年12月末現在)

【すみよし学習クラブ (ジュニア)】

●令和7年度事業者:株式会社イング

各教室の人数 (12月末時点) 遠里小野教室5人 清水丘教室2人 南住吉教室 22人 苅田北教室5人
オンライン教室0人 合計 34人

●無料体験会実施:随時開催

【すみよし学習クラブ】

各教室の人数 (12月末時点) 遠里小野教室3人 我孫子教室 12人 墨江丘教室 11人

1 教育活動支援事業

オンライン受講生0人 合計 26 人

●無料体験会実施:令和7年7月 22 日、24 日、25 日

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

496 千円

主な増減理由

増減なし

「漢字検定チャレンジ支援」自主学習習慣づくり支援事業

令和7年度予算:4,145千円(校長経営戦略支援予算)

1. 目的

令和6年度の全国学力・学習状況調査において、大阪市児童の国語の平均正答率は全国平均を下回っており、住吉区平均はさらに大阪市平均を下回る状況にあり、児童の学力向上が求められる。国語は、学力の基礎となる教科であり、漢字学習は、その重要な項目の一つである。目標設定をして漢字学習をすることで子どもたちの学習意欲を高めるとともに、自主学習の習慣づくりにも資するよう事業を実施する。

2. 内容

区内の小学校に通う児童(小学3～6年生のうち学校が選択する2学年)が漢字検定を受検することができるよう、検定料の支援を行う。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

学校長へのアンケートで「漢検受検に際して、児童の家庭学習や授業以外での学習時間が増えた」と感じる回答:75%以上

実績 (令和7年12月末現在)

漢字検定実施済5校(東粉浜小、依羅小、遠里小野小、清水丘小、荊田南小)

今後実施予定9校

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

4,141千円

主な増減理由

なし

1. 目的

区内小・中学校および幼稚園において、学校園の課題に応じて活動する教育活動補助スタッフが、継続的に学校園をサポートすることができ、児童・生徒・園児がより充実した学校園生活を過ごせるよう支援を行う。

2. 内容

学校園で学習支援や特別支援児童・生徒・園児への支援、語学支援など各学校園の教育活動に応じて活動する補助スタッフに対し、活動実績に応じた報償金を支出し、活動支援を行う。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

補助スタッフが活動する学校園において、「学校園補助スタッフの活動支援」は、学校における教育活動に役立っていると感じる学校園長の割合90%以上

実績（令和7年12月末現在）

- 区内学校園にて55名が学校園補助スタッフとして活動登録中
- 以降も引き続き、区内各学校園で学校園補助スタッフとして活動予定

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

5,501千円

主な増減理由

消耗品費一般事務経費から移行

1. 目的

学校における不登校支援にあたり、福祉的行政サービスを利用できるケースにおいて、どの行政サービスが必要・適切であるかを教員に示すとともに、教員が保護者に区役所等の適切な行政サービスを受けるよう提案していけるよう、行政サービスの情報や仕組みを分かりやすく伝えるための冊子を作成する。

2. 内容

児童・生徒と家庭への支援につながる行政サービス情報を掲載した冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内の小中学校・幼稚園24校園へ配付(1校園あたり5部)する。また、住吉区ホームページにも冊子情報を掲載(6月)。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

各学校園長へのアンケート調査において、当該冊子が不登校支援をはじめ、学校教育活動上「有効・有用である」との回答割合:100%

実績 (令和7年12月末現在)

・冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内学校園及び・区役所各課・関係機関等に 394 部配付した。(うち 54 部は、私立保育所・幼稚園に追加送付)

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

126 千円

主な増減理由

なし

1. 目的

不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が、社会生活を円滑に営むことができるようにするために、子ども・若者育成支援地域協議会を開催し、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業、関係機関や地域のネットワークを活用し、対象者やその家族を支援していく。

2. 内容

- 不登校やひきこもり等で悩む若者やその家族に対する相談(毎週火曜日・木曜日)や居場所事業等(月1日第3火曜日)を実施
- 区民向けの啓発として研修会やフォーラム等を開催

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

相談件数のべ350件以上

実績 (令和7年12月末現在)

- 相談 延べ件数 331 件
内訳 : 対応案件 79 件 (前年度からの継続 65 件、当年度の新規 19 件、終結 5 件)
主訴 : ひきこもり 18 件 不登校 11 件 学校問題等 15 件 その他 35 件
- 事前登録者 1 名
- 就労支援 3 名
- 保護者向け講座(6月 19 日実施 済み、2月 19 日実施予定)
- フォーラム開催(11 月 11 日実施 済み)

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

5.836 千円

主な増減理由

増減なし



すみよし学びあいサポート事業

(生活困窮世帯の中学生への学習支援)

令和7年度予算:4,503 千円

1. 目的

生活保護世帯を含む生活困窮世帯の中学生を対象に「学びあいの場」を提供。

地域ボランティアの活用や基礎学力向上のための学習支援を行うことにより、勉強意欲を高めて高校進学率を高めるとともに、不登校リスクのある生徒の問題解決を図る。

2. 内容

事業対象：学習意欲を有する中学生30～40名程度

実施場所：錦秀会住吉区民センター

実施回数：火曜日・金曜日(年間65回) 1回2時間(18時45分～20時45分)

実施内容：少人数での学習支援

受講料：無料

実施手法：株式会社キズキへ委託

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

- ① 参加生徒の出席率 80%以上
- ② 参加生徒の成績向上率 80%以上

実績 (令和7年12月末現在)

・継続的な出席や成績向上を目指し、個々の子どもの実情に応じた少人数の学習支援を年間 65 回行い、学習習慣の形成と基礎学力の向上を図っている。

・利用者 20名

・出席率 80.0%(12月末現在)

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

4,506 千円

主な増減理由

事業者選定委員交通費の増

1. 目的

発達の特徴等が背景にあり、行動面・学習面・情緒面で困難を有する児童について、心理相談員が保護者からの相談や学校等関係機関との連携を通して、児童の成長発達を促進する。

2. 内容

心理相談員(2名配置)による当該児童・保護者との個別面接、行動観察等を通じた児童の特性の査定及び、特性理解について学校等関係機関に対するコンサルテーションやケースカンファレンスへの参加を行う。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

制度の利用で発達障がい児の学校生活がスムーズになったと感じる学校の割合が80%以上

実績 (令和7年12月末現在)

2名の心理相談員が160件のケースを分担して担当している。

保護者面談・児童との個別面談を定期的に行っている。また、学校等関係機関と連携し、環境調整等を行っている。必要に応じ、ケースカンファレンスに参加している。

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

10,264 千円

主な増減理由

給与改定による報酬額の増

こどもの朝食欠食率改善推進事業

令和7年度予算:39千円

1. 目的

朝食を欠食する子どもの割合を減少させるため、モデル校で実施した事業を区内他校・関係機関へ周知するとともに、課題「朝ごはんを作ろう!」の実施のほか、保護者への啓発を強化するため、朝食リーフレットを配付する。

2. 内容

- 1年生に啓発用冊子を配付する(2、3年生には令和5、6年度配付済み)
- 区内中学校で、夏休みの課題「朝ごはんを作ろう!」を実施する
- 保護者懇談会の期間中やイベント時等において、校内でフードモデルを展示し、保護者や生徒への啓発を図る
- 保護者懇談時等において、「朝ごはんを食べよう!」を題材としたリーフレットを保護者に配付する

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

夏休み課題「朝ごはんを作ろう!」ワークシートを実施し、朝食欠食率の改善につなげる。
(食生活アンケートの事前事後結果において、「朝食を毎日食べる」「週4~6日」以外に回答した欠食者の割合が減少)

実績 (令和7年12月末現在)

- 区内中学校7校で、夏休みの課題「朝ごはんを作ろう!」を実施(1校未実施)
- 区内中学校全校で朝食啓発用冊子を全新1年生に配付(在校生には前年度配付済み。(8校))
- 区内中学校全校で保護者懇談時等において、リーフレット(テーマ:朝食の大切について)を保護者に配付(8校)
- 行事実施時等の機会を捉え、校内でフードモデルの展示及びリーフレット(テーマ:朝食内容について)を配付(4校)
- 食育講話(朝食の大切さや中学生に必要な栄養など)を実施(2校)

5. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

38千円

主な増減理由

購入物品の見直しによる減

生涯学習推進員の支援・はぐくみネット事業の推進

令和7年度予算:115千円

1. 目的

生涯学習推進員やはぐくみネットコーディネーターの活動を支援し、小学校を拠点とした学習機会の提供、地域における人と人や諸団体の間の繋がりを深めていくことで、豊かな地域教育コミュニティづくりをすすめる。

2. 内容

「生涯学習推進員」「はぐくみネットコーディネーター」の活動支援として、会議の開催支援や研修・交流会を実施し地域活動における教育コミュニティづくりに関する見識を深めたり、ボランティア同士のコミュニケーションを深める機会をつくる。(令和7年6月末現在：生涯学習推進員 51名、はぐくみネットコーディネーター 103名)

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

- ① 「学習の成果を学校園・地域に還元できたと思う」と回答した生涯学習推進員(各校区)の割合:60%以上
- ② 「はぐくみネットコーディネーターの活動により、こどもの教育のための地域のネットワークが前年度に比べて深まったと思う」と回答したはぐくみネットコーディネーター(各校区)の割合:60%以上

実績 (令和7年12月末現在)

- 生涯学習推進員51名
- 生涯学習ルーム事業の区広報紙特集記事(9月号)掲載・HP や SNS 等による広報(随時)
- 生涯学習推進員研修の開催(11月)
- はぐくみネットコーディネーター103名
- はぐくみネットコーディネーター会議の開催(6月、3月(予定))
- はぐくみネットコーディネーター活動の区広報紙特集記事(1月号)掲載 (別紙1)

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

151千円

主な増減理由

消耗品費一般事務経費から移行

防災・減災教育と活動の展開

令和7年度予算:なし

「災害に備えた自助・共助・公助の対策事業」(予算額 8,211 千円)を計上しているものの、「防災・減災教育と活動」に関する予算の内訳はなく、学校での防災学習の実施における講師等については、区職員や自主防災組織の地域防災リーダー等により対応しているため、予算無としている。

1. 目的

地域での安否確認や避難訓練、学校での防災講演や体験型の防災学習を行い、地域・学校が連携して防災事業を進める。

2. 内容

- 学校と地域との合同訓練の実施
- 区役所と連携した学校での防災学習の実施
- 区総合防災訓練(毎年11月第2土曜日:午前中)

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

自主防災組織主体の地域防災活動(防災訓練・防災イベント等)の実施数(目標:12 地域各2回)

実績 (令和7年12月末現在)

- 区役所と連携した防災学習の実施 8校 (別紙2)
- 小学校:墨江(6月4日)、山之内(9月 10 日)、東粉浜(9月 16 日)、長居(10月 28 日)、荻田(11月 22 日)、清水丘(12月 11 日)
- 中学校:住吉(12月1日)、墨江丘(2月 17 日(予定))

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

0 千円

主な増減理由

特になし

2 児童虐待防止関連事業

1

はぐあっぷ「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業 (児童虐待防止対策事業・はぐあっぷ推進事業)

令和7年度予算:14,047 千円

1. 目的

子育て世帯の身近な相談の場を確保するとともに、見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげることで、虐待による死亡事案ゼロの状態をめざす。

2. 内容

- 地域の拠点(地域集会所等)に子育ての専門職(非常勤の保育士、看護職など)が定期的に巡回し、子育て世帯の身近な相談の場を確保する。また、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じて、地域における支援力の向上を図る
- 乳幼児健診の狭間期である2歳6か月児を対象に、全家庭への質問票送付等によるポピュレーションアプローチを実施する
- 要対協登録事例の中で特に潜在的リスクが懸念される保育所・幼稚園等の所属のないこども、特定妊婦、乳幼児健診未受診者、保育所・幼稚園等の所属はあるが状況確認が不十分なこども及び要対協登録前の段階にある事例という見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげる
- 地域拠点での相談や上記対象者へのアプローチを行うなかで、必要に応じて保育所申請や療育利用手続きのサポート、ファミリーサポート事業や一時預かりの利用調整を行い、確実かつ速やかに支援につなげることでリスクの低減を図る

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

子育てサロンなどの利用者に対するアンケートにおいて、身近な地域で相談できる場があって良かったと回答する人の割合 75%以上

実績 (令和7年12月末現在)

- 全12地域で地域見守り支援事務所や子育てサロンの巡回を行うとともに、8地域で子育て何でも相談会の開催など行うほか、保育所、幼稚園、つどいの広場7か所、子育て支援センター2か所についても巡回し情報交換を行っている。
- 2歳6か月児をもつ全家庭に対し、質問票及び子育て情報の資料を送付。必要に応じて、保健師による相談支援を実施。

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

14,560 千円

主な増減理由

給与改定による報酬額の増

2

すみちゃんまちぐるみ「こども安心」見守り事業

(児童虐待防止対策事業)

令和7年度予算:349 千円

1. 目的

- こども・子育て世帯にかかわる区内関係機関や地域団体等の関係者が幅広く連携し、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づいて必要な支援につなげる
- 地域をあげて、まちぐるみでこども・子育て世帯の安全・安心を見守る全区民的な機運を醸成することにより、子育て世帯の不安や孤立の解消を図り、虐待を防止することで、こどもたちが希望をもって健やかに成長し、子育て世帯が安心と喜びを実感しながら子育てできるまちづくりをめざす

2. 内容

- こどもや子育て世帯を見守り、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づき、必要な支援先につなげていくといった取り組みの趣旨、見守り支援の心得、見立ての仕方や関係機関の連絡先等を記したハンドブックを作成する
- 区内の関係機関や地域団体等の関係者が、子育ての現状を認識し、気づきや発見、見立てへ理解を深められるような研修会・講演会などの機会を提供する

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

- ・地域団体等の関係者や区内の関係機関等を対象にした研修会を実施(年2回)
- ・重大な虐待ゼロに向けたリーフレットの作成(年1回)

実績 (令和7年12月末現在)

- 区内の関係機関や地域団体等の関係者等を対象に、令和7年9月19日にテーマを「ヤングケアラーの声なき声に応える力を」、令和8年1月27日に「発達特性のある子どもとその家族を支えるあなたに～ペアレント・トレーニングの手法から～」としてスキルアップ研修会を実施。
- 地域の支援者が、気になる子どもや家庭を支援につなげるために活用できるような子育て相談室をはじめ各種相談窓口を紹介するリーフレット等を作成し、区内の関係機関や地域団体等の関係者に配付していく。

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

349 千円

主な増減理由

増減なし

こどもサポートネット事業

令和7年度予算:20,360 千円(区 CM 自由経費)

1. 目的

課題を抱えたこどもや子育て世帯を市立小学校、市立中学校において発見し、学校と区役所が連携して保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援につなぎ、こどもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する仕組みを構築し、円滑な実施を図ることを目的としています。

2. 内容

- スクールソーシャルワーカー(以下「SSW」と記載)4名、こどもサポート推進員4名を区役所に配置し、担当の学校ごとにチームで活動する
- 学校の教職員による児童・生徒への「気づき」を活かし、その課題の有無及びその現況を見える化したスクリーニングシートを通じ、SSWによる専門的見地から課題の状況を評価し、こどもサポート推進員を通じ適切な支援に繋ぐ

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

こどもサポートネットで個別に支援した事例のうち前向きな変化が見られた割合:50%以上
実績(令和7年12月末現在) ※指標実績値未記載のものは今後集計予定。

- アセスメントによる支援のためのスクリーニング会議Ⅱの開催 46回(12月末)
- アセスメント対象のこどもの数 212名(12月末)
- 取り組み内容
 - ・各種申請(塾代助成・放課後デイサービスなど)の手続き支援
 - ・学習支援(自立アシスト・フリースクールなど)の手続き支援
 - ・関係機関(こども食堂など)の紹介

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

20,388 千円

主な増減理由

物価上昇に伴う消耗品費の増

※SSWについては、教育委員会事務局予算

すみちゃん子育て情報フェア

令和7年度予算:127 千円

1. 目的

子育て世帯が子育て支援情報を一度に収集できる場を提供することで、施設やサービスの利用促進を図る。

2. 内容

区内子育て支援施設(保育所・保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育事業所・地域子育て支援拠点)の施設やサービス、保育所の入所手続き等の情報を住吉区役所ホームページや情報誌により提供するフェアを実施。

3. 令和7年度事業 指標・実績

指標

情報誌の配下数750部以上

実績 (令和7年12月末現在)

- ・すみちゃん子育て情報フェアをホームページ上で開催(8月)
- ・「すみちゃん子育て情報フェア」情報誌を発行し、区役所や関係施設で配架(8月)

4. 令和8年度予算(案)

令和8年度予算要求額

124 千円

主な増減理由

なし